

### 山下俊郎先生を悼む

山下俊郎先生が、去る三月十九日に逝去された。謹んで哀悼の意を表したい。

先生は、昭和三十年から、二十七年間にわたり、日本保育学会の会長をつとめられた。先生は、戦前から戦後にかけて現在にいたるまで、常にかかわらず、所信をもって、幼児の保育のためにつくされた。日本の保育界における先生の功績は大きい。

本誌との関係について云えば、第三十五卷十一号(昭和十年)に、「幼児に於ける習慣の問題」と題する文章を書かれて以来、ことに昭和二十一年復刊後は、編集協力委員として、また、その後長巻頭論文を毎年きまって書かれてきた。本誌に寄せられた文章だけでも、数えあげることが困難なほどである。先生が本誌に執筆された最後の論説は、八十巻四号(昭和五十六年)に寄せられた「幼稚園の

学級定員再論」である。幼稚園の一クラスの人数が四十名であることが日本の保育の向上を阻んでいるというのは、先生の持論のひとつであったし、こういうことになると、日頃は端正な英国風紳士の奥に秘められていた反骨精神を、あからさまに発揮された。八十巻九号に掲載された立川多恵子氏による先生との記念インタビューの最後には、「保育」という語に対する愛着について語られている。「いたわりの心、子どもを可愛がる心、そういう心で接していかなくてはいけないだ」と。(保育要領が)教育要領に変わった時も、教育であると真正面から切り込むのは、幼児を育てる心じゃない」と云われる、そういうときの先生の毅然とした精神にふれて背筋を正される思いをしたことがあるのは私だけではないと思う。先生が日本の保育界に生きられたことの意味を思い、先生のご苦勞に感謝したい。

(津守 真)

### 幼児の教育 第八十一巻 第六号

六月号 © 定価二七〇円

昭和五十七年五月二十五日 印刷  
昭和五十七年六月 一日 発行

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真  
発行人

東京都文京区大塚二ノ一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

発行所 日本幼稚園協会

東京都港区三田五ノ一二ノ一

印刷所 図書印刷株式会社

東京都千代田区神田小川町三ノ一

発売所 株式会社 フレーベル館

振替口座東京九一九六四〇番

◎本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

※万一製品不良品がございましたら、おとりかえいたします。